

令和7年9月例会のご案内

日時：令和7年9月4日(木) 14:30~16

場所：長田区浪松町、会社2階会議室

ご欠席の場合のみ9月02日までに弾幹事宛ご連絡下さるようお願い致します。

TEL/FAX: 078-582-4551 090-9995-5110 E-mail: m.dan7337@gmail.com



議事次第

1. 山田会長ご挨拶
2. 九月お誕生：河野隆会員。山田信子会員。
3. 卓話：会員の持ちより卓話
4. 協議事項：10月、11月、12月の各例会について

報告・連絡事項

1. 8月18日：奈良プロバスクラブのビアパーティーにお招き頂き山田会長はじめ3名 参加しました。渋谷様リーダーで盛り沢山の楽しいイベントで頂き感謝感激でした。二次会を喫茶店で開催して頂き大変楽しいパーティーでした。
2. 8月20日：大阪プロバスクラブのビアパーティーにお招き頂き山田会長はじめ3名 参加しました。多くの方は初めてだったと思われる、口笛奏者：世界チャンピオンの儀間太久実様のコンサートは It was so amazingで深く感銘を受けました。
すばらしいアンサンブルに日頃の交流で大変和む楽しいパーティーでした。

※ 両クラブのビアパーティーでは楽しく、和やかに過ごし一層友好が深まりました。感謝・感謝

3. 10月02日：野外研修：竹中大工道具館 詳細は後報
4. 8月卓話：山田博補会員：ゴルフで日射病になった症状について、注意喚起
河野隆会員：あまり飲んでいないのにアルコール中毒になり救急車。状況報告
5. 監崎氏卓話：童謡「夏の思い出」：作詞：江間章子。作曲：中田喜直のエピソード：昭和24年にNHKのラジオ歌謡で石井好子の歌で放送。その後、曲中に現れる尾瀬の人気は飛躍的に高まった。
作詞の経緯：江間は幼少の頃岩手山に近くで住んでいたが、そこはミズバショウの咲く地域だった。
昭和19年たまたま尾瀬を訪れた。そこで目にしたのが咲き乱れるミズバショウだった。夢心地だった。
NHKから「夢と希望のある歌をおねがいします」と依頼され、思い浮かんだのが尾瀬の情景だった。
その時の感動を詩にしたのが「夏の思い出」である。ミズバショウの咲くのは5月末だそうです。
6. 閉会の辞：河野隆 副会長



【ひとこと】

監崎 章

私はI型糖尿病に付き合いつつ始めてから約三年と七ヶ月になります。毎食事前に、食事の糖質量と指先から採血して測定した血糖値に見合った量のインシュリンを腹部に注射する生活にだいぶ慣れてきました。

只、こういう状況なので外出がめっきり減りました。でも当クラブの例会で皆様にお会いして楽しく会話できるので大変救われています。又、毎月、多くの他のクラブの会報を拝見し、感動や勉強をさせていただけますので感謝しています

以前のひとことでもご報告しましたが、晴れた日は朝十時過ぎに近くの「上畑公園」の中の南側にある鉄棒で十五分ほどストレッチしています。鉄棒を背に北の空を見上げると西から東に向かう飛行機やいろんな形の飛行機雲を見れます。

ある日、空を見上げてみると、細くてまっすぐできれいな飛行機雲だなぁと思うとよく見ると、公園の北側の道路にある電柱の頂上に張られた一本の白い電線でした。その時過去の例会案内にこれと同じ勘違いをしたという川柳を見たことを思い出して調べてみると、令和三年十二月の例会案内に徳田桂子会員の『ひかる電線飛行機雲とまちがえた』という句を見つけました。徳田さんは令和四年六月にご逝去されていますが、笑いながら再会させていただいた気がしました。

この白い電線は「架空地線」と呼ばれ電線を雷から保護するための電線であることが解りました。

【童謡・唱歌】故郷の空 作詞 大和田建樹
曲 スコットランド民謡

一、夕空はれて あさかぜふき

つきかげ落ちて 鈴虫なく

おもえば遠し 故郷のそら

ああ わが父母 いかにおわす

二、すみゆく水に 秋萩たれ

玉なす露は すすきにみつ

おもえば似たり 故郷の野辺

ああ わが兄弟（はらから）たれと遊ぶ

